

第 18 回 運営推進会議

開催日：令和 8 年 4 月 23 日（木）

時 間：14 時 30 分から

場 所：ゆうらいふ長浜 1 階多目的ホール
デイサービスゆうらいふ ホール

1. 事業所活動見学・参加

- | | | | |
|--------------------|---|---|---|
| ・ 出雲市高齢者あんしん支援センター | | 様 | |
| ・ ご利用者ご家族 | 様 | 様 | |
| ・ ご利用者 | 様 | 様 | 様 |
| | 様 | 様 | |
| ・ 第三者委員 | 様 | 様 | |
| ・ 株式会社ライフサポート | | | |
| 代 表 取 締 役 | | | |
| シルバー事業部 部長 | | | |
| 事業所生活相談員 | | | |

2. 代表取締役挨拶

地域密着型のデイサービスを開始し、9 年が経過しました。

私たちは、ご利用者様が「元気が出るわ」「今日は楽しかったわ」と笑顔で帰られることを何より嬉しく感じています。ご利用者様、ご家族様が安心して利用できる施設であり続けることを目標に事業を展開しております。

本日は実際の活動の様子をご覧いただきましたが、今後もより良いサービス提供につなげるため、皆様から率直なご意見をいただきたいと思います。

3. 議題

① 事業所の近況について（別紙資料参照）

② 意見交換

○ 様

これまで仕事を一生懸命してきたが、腰の手術をきっかけに、一時は人生が終わったように感じた時期もあった。しかし現在は、自分で食事をし、歩くこともできるようになった。

これまでは人のために頑張ってきたが、今は「第二の人生を自分のために生きたい」と思うようになった。家に閉じこもっていると気持ちも沈みがちになるため、こうして出掛けられる場所があることに感謝している。

利用当初は手探りだったが、今では遠慮なく意見を言い合える関係性ができ、他の利用者との会話も楽しく、通所を楽しみにしている。

一方で、施設全体の清掃はできていると感じるが、椅子の脚に埃が溜まっていることがあり、気になる時がある。

○ 様

デイサービスへ通うことを楽しみにしている。看護師がおり、かしこまらずに体調や不安なことを相談できる環境があるため、とても心強く感じている。今後も継続して利用したい。

○ 様

以前は自宅で一人暮らしをしていたが、息子様の心配もあり、現在はゆうらいふに入居している。デイサービスには週2回楽しく通っている。

施設で生活していると地域的话题を耳にする機会が少なくなるが、デイサービスで地域の方々と交流することで、「〇〇の花が咲いた」など外の新鮮な話を聞くことができ、それが楽しみになっている。

○ 様

皆さんと一緒に楽しく活動できることが何より嬉しい。

歌を歌うことも好きであり、お茶を点てることも昔から続けてきたため、以前デイサービスでお茶を点てて皆で飲んだことが楽しかった。

○ 様

現在の取り組みを継続していただければ十分であり、特に追加で伝えたいことはない。

○ 様(質問)

① 地域外送迎について「最も遠方ではどのあたりから来られているのか。また送迎はあるのか」

→現在は湖陵地区や下古志地区などから利用されている方がおられる。いずれも事業所で送迎対応を行っている。

② 外部ボランティア・外出・地域連携について「コロナ禍以降、受け入れが難しくなっていた外部ボランティアの受け入れ状況や外出の実施状況について。また、コミュニティセンターとの連携について。」

→外部ボランティアについては、施設行事として受け入れを再開している。

また、コミュニティセンターとの直接的な交流は多くないものの、ご紹介を通じて地域の幼稚園・小学校・中学校による福祉活動や学習活動、看護学生の実習受け入れ等を行った実績がある。

○ 様

半年に一度、この会へ参加し、利用者様の様子や話を聞きながら、地域住民として安心している。

本日、実際の活動の様子を見学し、皆さんが本当に楽しく過ごされていると感じた。今後も元気に楽しく過ごしていただきたい。

○ 様

本日は作品作りの様子を見学した。利用者様同士が声を掛け合い、会話をしながら楽しそうに取り組まれていた。やはり「会話」はとても大切だと感じた。

また、作成された作品を秋の文化祭へ出展していただければ、地域の方々にも見ていただく機会になると思う。

○ 様

以前は四世代で同居していたが、現在は住宅型施設へ入居している。在宅時は家族との会話はあったものの、日中ぼんやり過ごす時間も多くなっていた。入居後、デイサービスへ通うことで多くの方と会話する機会が増え、自宅にいた頃よりもしっかりした印象を受けている。これからも元気に過ごしてほしい。

○ 様

昨年 12 月からデイサービス利用を開始した。職員の気遣いを日々感じている。活動内容も一つではなく、洗濯、貼り絵、脳トレなど、本人に合った活動を提供してもらっているため、集中して取り組んでいる。

利用開始前は長い入院生活を送り、退院時には歩行器が必要になる生活を想像していた。しかし現在は、立ち上がり時のふらつきはあるものの、踏ん張る力がついてきており、転倒や怪我が減った。体操の効果を感じている。

③ その他

○事業所より

今後も皆様に気持ちよく利用していただけるよう、環境整備に努めていきたい。夏季は猛暑により外出機会が限られるが、季節を感じられる外出行事や交流行事を引き続き企画していく予定である。ご利用者様のお声を伺いながら、さまざまなことを楽しめるデイサービスを目指していきたい。

また、次回の運営推進会議では、災害時対応および業務継続計画（BCP）について、地域の皆様からのご意見をいただきながら意見交換を行いたいと考えている。

1. 利用状況

○月別利用者数

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	33	33	33	33	30	32
延べ人数	285	235	270	242	226	276
平均数	13.0	13.1	12.9	12.7	12.6	12.5

○期間別利用状況（平均）

	10月～12月平均	1月～3月平均
利用数	33	31.7
延べ人数	263.3	248
平均数	13.0	12.6

○介護度別（今月）

介護度	事業対象者	要支援 1	要支援 2	※申請中 1 名	
利用数	0	2	7		
介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
利用数	14	6	2	2	0

○男女比（今月）

性別	男性	女性
利用数	9	25

○地域別利用者数

区分	通常営業実施区域	区域外	住宅型有料入居者
利用数	16	6	12

○概要

前回の会議と比較して、利用者数に大きな変化はありませんが、入院やショートステイ等の利用に伴い、利用回数はやや減少しております。その他の状況につきましては、全体を通して大きな変化はありませんでした。

また、前回の会議以降、運営状況についても大きな変化なく推移しております。

○弊社各事業所の現状

介護付有料老人ホームゆうらいふ（50 室）

住宅型有料老人ホームゆうらいふ（21 室）

介護付有料老人ホームについては、市内施設の増加や特別養護老人ホーム待機状況の変化に伴い、入居問い合わせが減少傾向にあります。一方、住宅型有料老人ホームは開設以降ほぼ満室状態が続き、待機者も複数名おられる状況です。こうした地域ニーズ等を踏まえ、介護付有料老人ホームを 40 室、住宅型有料老人ホームを 31 室へと、計 10 室の転換を行うこととしました。

なお、新規受け入れは 6 月 1 日を予定しております。